

(件名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

私は祇園之洲町に住んでいます。目の前には錦江湾と桜島があります。新体育館建設予定地もこのような場所です。地域柄私は防災意識が強い方です。地域の消防団の話では、大地震が発生した場合、10メートルを超える津波はこないが、3メートル程の津波はくるそうです。最新の「県政かわら版」を読みました。「新体育館は避難場所にもなる災害に対応できる施設」また「津波の浸水区域に含まれていない、液状化の危険性が高い地域だが影響のない整備をする」と書いてありましたが、本当に大丈夫なのでしょうか。多くの疑問を持っています。現に福島原発で、建設当初安全性を公言していた国は大災害後「想定外の災害だった」と言いました。南海トラフ大地震や桜島の大爆発は想定外の災害の可能性があります。本当に県民の命を守れる避難所として活用できるのでしょうか。想定外の災害が起こり、新体育館に避難した県民が命を落としても「想定外だった」と言って済まされるのでしょうか。それよりも「海からできるだけ離れた場所」「危険な場所から離れた場所」このような場所がふさわしくないですか。競技中やコンサート講演中に災害に見舞われた時、本当に安全な場所なのか。大規模な災害が起きた場合、倒壊や損壊のおそれもあります。その度に、莫大な県民の血税が使われるのか。しかも建設予定エリアは埋め立て地です。相当な地盤改良をしないと液状化は防げないので、そうなると予算はもっと膨れ上がります。

多くの県民が、鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に疑問を抱いています。

事業の内容すら知らない県民が多いです。鹿児島県政はもっと県民に対して説明を行うべきです。

そして、多くの県民の意見を尊重してください。鹿児島県民みんなの血税なのですから。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

1. 県民との意見交換の場を設けて頂けるよう鹿児島県政に求めます。
2. 進めるのであれば、賛否を問う県民投票の実施を求めます。